

## 長期間使用しない場合

必ず器具左側の運転スイッチを「切」にしガス元せん・給水元せんを閉め、電源プラグを持ってコンセントから抜いて、水抜きを行なってください。(水抜きをしないと、冬期は凍結による器具の破損のおそれがあります。)

## アフターサービス

### (1)保証書(別に添付してあります)

保証書は、必ず「販売店名・購入日」等の記入を確かめて、販売店から受取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間—ご購入日から1年間です。

### (2)修理を依頼されるとき

12ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」に従ってお調べになり、直らないときは、必ずガス元せん・給水元せんを閉めて、電源プラグを持ってコンセントから抜いてから、後の処置をしてください。

なお、寒冷時には水抜きをしてください。

#### ●保証期間中は

お求めの販売店にご連絡ください。保証書の規定に従って販売店が修理致します。

#### 連絡していただきたい内容

- ご住所・ご氏名・電話番号
- 製品名・品番・ご購入日
- 故障又は異常の内容  
(できるだけ詳しく)
- 訪問ご希望日

#### ●保証期間が過ぎているときは

お求めの販売店にまずご相談ください。修理すればじゅうぶん使えるときには、ご希望により有料で修理致します。

### (3)補修用性能部品の最低保有期間

ガス給湯ふろユニットの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後7年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### (4)ガスの種類の異なる地域へ転居される

ガスの種類は、LPガス、都市ガス(都市ガスには14種類あります)があります。ガスの種類が異なる地区へ転居される場合には、改造・調整が必要です。この改造・調整に伴う費用は保証期間内でありましても有料です。なお「仕様」のガス消費量が□印のガスグループへの改造・調整はできません。

### (5)アフターサービス等についてわからない

とき  
お求めの販売店 又は、最寄りのご相談窓口  
(別紙一覧表参照)にお問合わせください。

**便利メモ** おぼえのために記入されると便利です。

|               |        |   |   |    |
|---------------|--------|---|---|----|
| ご購入年月日        | 年      | 月 | 日 | 品番 |
| ご購入店名         | 電話 ( ) |   |   |    |
| 最寄りの<br>ご相談窓口 | 電話 ( ) |   |   |    |



松下電器産業株式会社  
松下住設機器株式会社 ガス機器事業部  
〒639-11 奈良県大和郡山市筒井町800番地  
電話 大和郡山 (07435) — 6 — 1 1 2 1 (大代表)

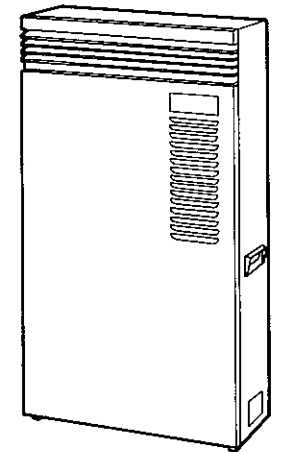
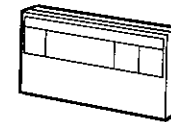
Y0486-5

## ナショナルガス給湯ふろユニット

(ガスふろがま)

|        |             |             |              |
|--------|-------------|-------------|--------------|
|        | 〈LPガス用〉     | 〈都市ガス用〉     |              |
| 品<br>番 | GU-16RD(P)  | GU-16RD(G)  |              |
|        | GU-16R2D(P) | GU-16R2D(G) | (パナソール接続可能型) |
|        | GU-16R1D(P) | GU-16R1D(G) |              |

## 取扱説明書 (工事説明書別添)



正しく使って上手に節約

■この説明書と別添の「工事説明書」「保証書」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。そのあと大切に保管し、わからないときは再読してください。

### 保証書別添

保証書は必ず「販売店名・ご購入日」等の記入を確かめて、販売店からお受取りください。

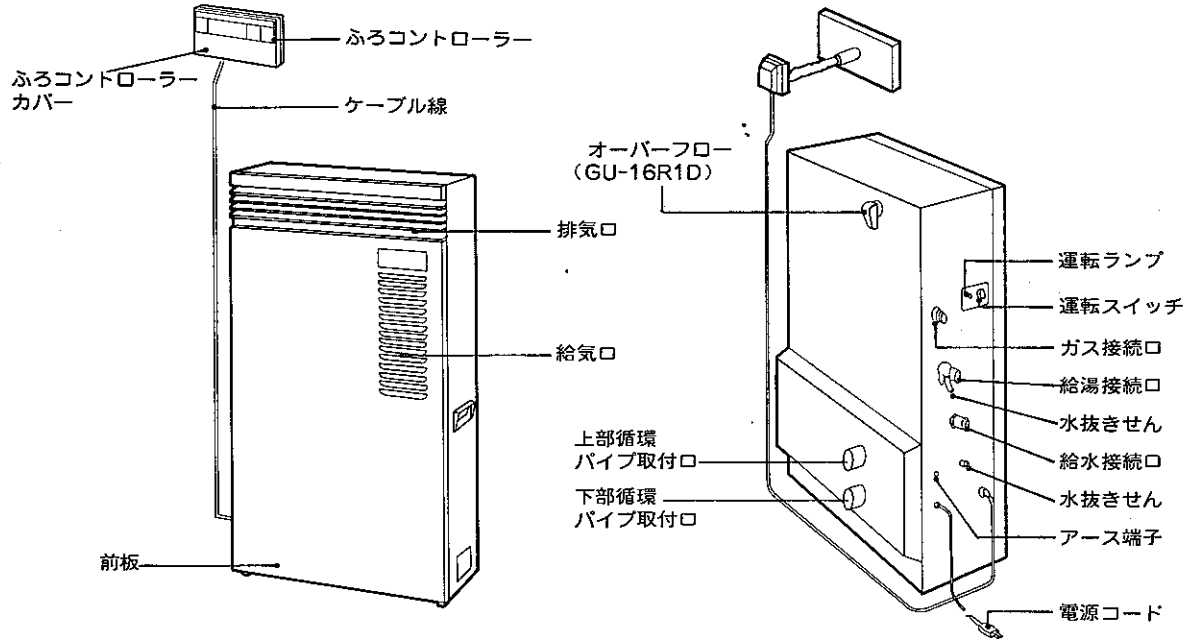
## も く じ ページ

|                  |     |
|------------------|-----|
| 各部の名称            | 1   |
| 特に注意していただきたいこと   | 2   |
| 器具の設置及び付帯工事      | 3   |
| 器具の使用法           | 4   |
| 器具の上手な使い方        | 9   |
| 冬期の凍結による破損防止について | 9   |
| 日常の点検・手入れ        | 11  |
| 故障・異常の見分け方と処置方法  | 12  |
| 仕様               | 14  |
| 長期間使用しない場合       | 裏表紙 |
| アフターサービス         | 裏表紙 |

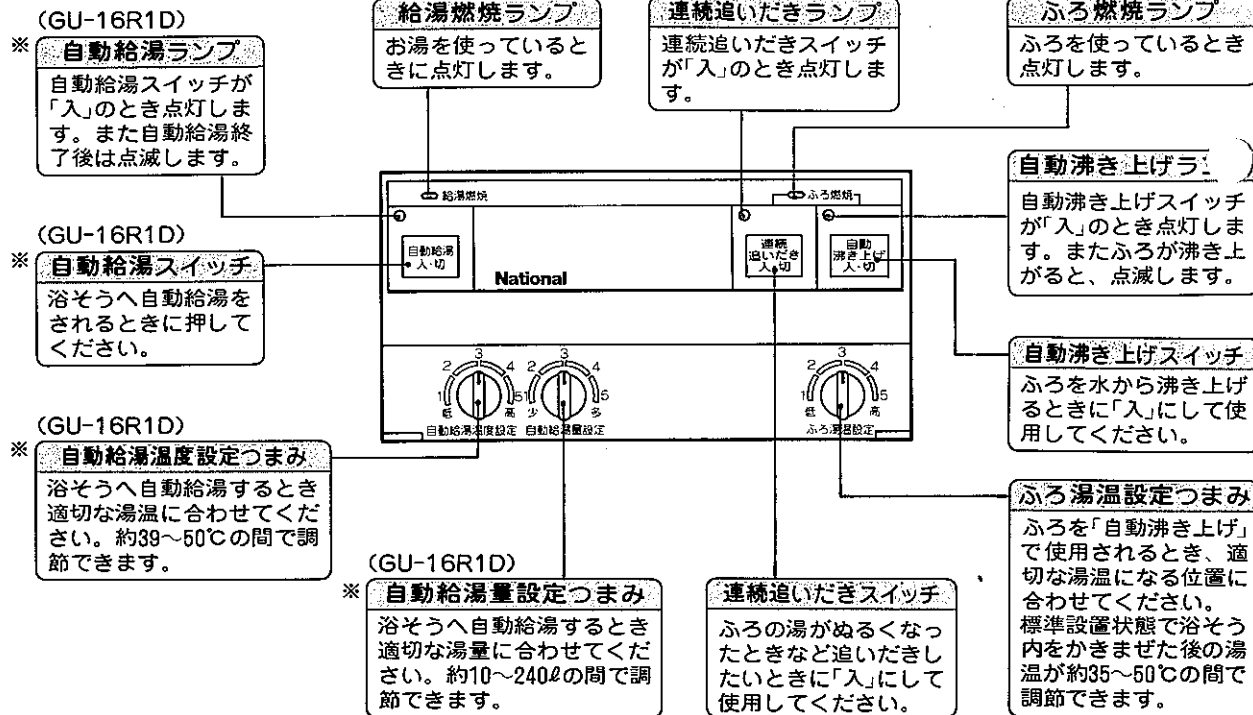
# 各部の名称

## ■外観

● GU-16RD・16R2D GU-16R1D



### ふろコントローラー



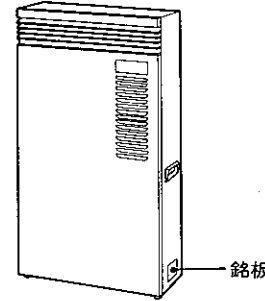
※印はGU-16RD・GU-16R2Dにはありません。

# 特に注意していただきたいこと

## ■使用ガスおよび使用電源についてのご注意

- (1) 器体(銘板)に表示してあるガス(ガスグループ)以外のガスでは使用しないでください。
- (2) 器体(銘板)に表示してある電源(電圧・周波数)以外の電源では使用しないでください。

〔注〕この部分を必ずご確認ください。(例:GU-16R1D)

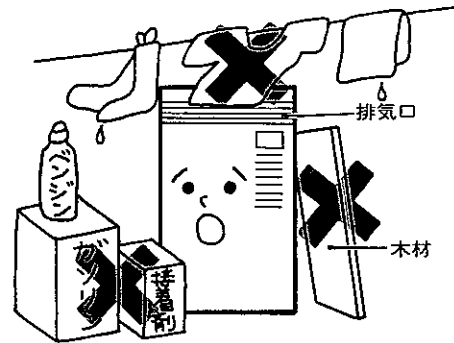


| 【LPガス用銘板】                                   |                                       | 【都市ガス用銘板】                                   |   |
|---|---------------------------------------|---|---|
| ガスふろがま                                      |                                       | ガスバーナー付ふろがま                                 |   |
| 型式名   | GF-GU-16R1D                           | 型式名   | GF-GU-16R1D(G)                              |
| バーナー型式名                                     | GF-GU-16R1D(P)用                       | ガス区分  | 13A 12A                                     |
| ガス消費量                                       | 最大3.33kg/h<br>最小0.83kg/h              | ガス消費量                                       | 最大 41000 38200<br>最小 10200 9700<br>(kcal/h) |
| 設置方式  | 屋外用                                   | 使用電源  | AC100V、50-Hz、83W<br>AC100V、60-Hz、100W       |
| 使用電源  | AC100V、50-Hz、83W<br>AC100V、60-Hz、100W | 設置方式  | 屋外用   |
| 松下住設機器株式会社<br>松下電器産業株式会社<br>凍結予防ヒーター作動時180W |                                       | 松下住設機器株式会社<br>松下電器産業株式会社<br>凍結予防ヒーター作動時180W |   |

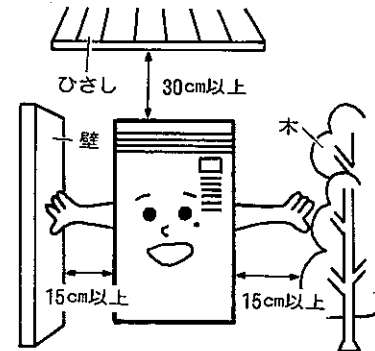
| LPガス         | 4A・4B・4C | 5A・5B・5C    | 6A・6B・6C・7C | 11A・12A・13A |
|--------------|----------|-------------|-------------|-------------|
| 都市ガス(ガスグループ) | 5A・5B・5C | 6A・6B・6C・7C | 11A・12A・13A |             |

## ■火災予防

- 器具の上や周囲には燃えやすいものを置かないでください。特に、排気口に洗たく物などを置かないでください。



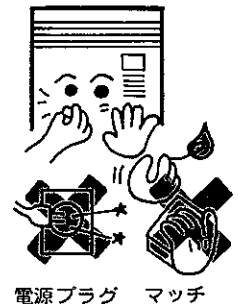
- 壁、その他の可燃物から十分離れている場所で使用してください。



- 火をつけたまま就寝や外出は絶対にしないでください。

## ■ガス事故防止

- 使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中もときどき正常に燃焼していることをコントローラーの燃焼ランプで確かめてください。
- 使用後はコントローラーのスイッチを「切」にし、お出かけのときや、お寝みの際には、ガス元せんも必ず閉めてください。
- ガス漏れに気づいたときは、すぐに使用をやめ、運転スイッチを切り、ガス元せんを閉じ、お求めの販売店かガス供給業者に連絡してください。
- 万一ガスが漏れたときは、すべての処置が終わるまでの間、絶対に火をつけたり、電気器具(換気扇その他)のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しなどをしないでください。



# 特に注意していただきたいこと

## ■使用上のご注意

### (1)用途についてのご注意

台所・シャワー・洗面などの給湯およびふろの沸き上げ、追いだき以外の用途には使用しないでください。

### (2)市販の補助用具使用についてのご注意

●この器具用の付属品・補助用具以外は使用しないでください。

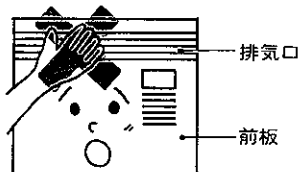
(不完全燃焼などの原因になります)

●市販の湯ざめ防止器、または簡易シャワーユニットなどを取り付けて使用しないでください。

(器具の異常過熱などの原因になります)

### (3)火傷にご注意

使用中および消火直後は、前板や、排気口が高温になっていますので、絶対に手を触れないでください。



### (4)雷時の注意

激しい雷が接近したときは、使用を中止し電源プラグを抜いてください。

### (5)健浴剤や洗剤についてのご注意

硫黄・酸・アルカリを含んだ健浴剤や洗剤は熱交換器が腐食する原因になりますので、健浴剤等のご注意文をじゅうぶんご参照ください。

### (6)飲用にお使いのときは

器具内に長時間たまった水は飲用または調理に用いないでください。

### (7)過熱防止

●ふろがまだ沸かすときには、浴そうに水が入っていることを確かめてから点火してください。

(空だきは器具の寿命をいちじるしく短くしたり、浴そうをいためたりします。)

●浴そうの循環口はタオルなどでふさがないようにしてください。

## ■凍結に注意

冬期は、寒冷地だけでなく、暖かい地方でも急な寒波のため器具内の水が凍って、器具を破損することがあります。

詳しくは、9~11ページの「冬期の凍結による破損防止について」をお読みください。

## ■異常時の処置

万一、異常燃焼、臭気、異常音などが感じられたときや、(地震、火災など)緊急の場合は、あわてずに下図の処置をし、お求めの販売店かガス供給業者に連絡してください。

|                                    |                                   |   |
|------------------------------------|-----------------------------------|---|
| <p>1. 給湯せんを閉める。</p> <p>お湯の使用場所</p> | <p>2. 運転スイッチを切る。</p> <p>器具の左側</p> | <p>3. 給水元せん・ガス元せんを閉める。</p> <p>器具の左側</p> |
|------------------------------------|-----------------------------------|---|

# 器具の使用操作方法

## ■ご使用前の準備と確認

1. 給水元せんを全開にしてください。



器具の左側

2. 給湯せんを開け、水の出ることを確認してから閉めてください。



お湯の使用場所

3. ガス元せんを全開にしてください。



器具の左側

4. 電源プラグをコンセントに差し込み、器具の左側の運転スイッチを「入」にしてください。(運転ランプが点灯します。)



器具の左側

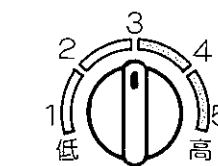
## 自動給湯のしかた (GU-16R1Dのみ)

ふろ(浴そう)へ自動的に給湯するときに使います。

## ■点火

### ①自動給湯温度の設定をします。

ふろコントローラーのカバーを開け、自動給湯温度設定つまみを適切な湯温に合わせてください。約39~50℃の範囲で調節できます。



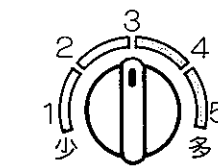
自動給湯温度設定

### ●自動給湯時のご注意

(注)冬期の水温が低い時、水圧の高い所では自動給湯湯温が、設定温度に達しないことがあります。このような場合は、お好みの湯温に追いかけてください。(自動沸き上げ、または連続追いかけてください。)

### ②自動給湯量の設定をします。

自動給湯量設定つまみを適切な湯量に合わせてください。約10~240ℓの範囲で調節ができます。



自動給湯量設定

## ご注意

●使用中の停電後の再使用时や浴そうに残水がある場合は、その水量分を見込んで少なめの設定をしてください。(設定が多過ぎると浴そうからあふれることがあります。)

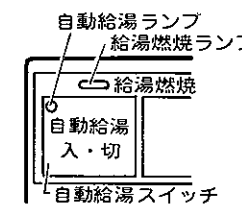
### ③浴そうの排水せんをきちんと入れます。

### ④浴そうのフタをします。

### ⑤自動給湯スイッチを「入」にします。

メインバーナーに点火し浴そうの中へ湯が出てきます。

(自動給湯ランプ(緑)と給湯燃焼ランプ(赤)が点灯します。)



(注)給湯燃焼ランプが7秒すぎてもつかない〔給湯燃焼ランプ(赤)が点滅してブザーが鳴る〕場合には、自動給湯スイッチを「切」にした後、再度「入」にする操作を繰返してください。

# 器具の設置及び付帯工事

●器具の設置・移動及び付帯工事は、お買い求めの販売店にご依頼し、安全な位置に正しく設置してご使用ください。

●ご使用前に工事説明書通り正しく設置されていることを確認してください。

●アースの接続を確かめてください。(詳しくは工事説明書16~17ページ参照)

# 器具の使用方法

- 設定した湯量が給湯されると、自動的に燃焼が止まり、給湯燃焼ランプが消灯し、ブザーが鳴ります(約8秒)。同時に自動給湯ランプ(緑)が点滅をはじめます。

## ご注意

- 自動給湯中に他の給湯せんを開けますとそこでの使用量だけ浴そうの湯量が少なくなります。
- 自動給湯中に自動給湯スイッチを「切」にし、再度「入」にすると「入」の時点からもとの設定量の湯が給湯されますのであふれることがあります。

## 使用後は

### ⑥ 自動給湯スイッチを「切」にしてください。

自動給湯ランプ(緑)の点滅が消灯します。

(注)使いはじめや、長期間使用しなかった後など、「自動給湯」のはじめに、浴そうへ湯アカが出てくる場合があります。

## 給湯操作のしかた

### ■ 点火

#### ① 給湯せんを開けます。

メインバーナーに点火し、お湯が出ます。

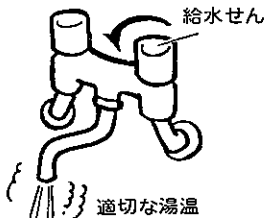
(点火と同時に、給湯燃焼ランプ(赤)が点灯します。

(注)この器具は高温出場タイプ(約60℃)になっていますので必ず混合せんで湯温を調節してご使用ください。

(注)冬期など水温が低い時、高温がとれない場合は、給湯せんを絞ってお使いください。

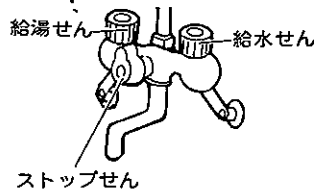
#### ② 混合せんで湯温を調節します。

給水せんを除々に開き、適切な出湯温度になるように調節してください。

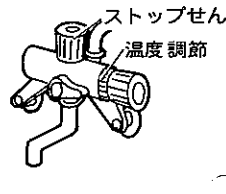


- 混合せんにはいろいろな種類がありますが次のようなタイプが使いやすいのでおすすめします。(ストップせんを開くだけでセットされた温度の湯が出てきます)

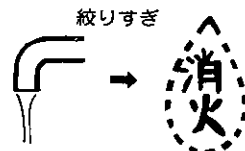
#### ワンストップ混合せん



#### サーモキシング混合せん



- 給湯せんを絞りすぎると(3ℓ/分以下)メインバーナーの火が消えるようになっています。



- 湯量を絞ったとき水の中の空気が分離して気ほうとなり、湯が白くなることがありますが、空気ですので何ら心配はありません。

- 自動給湯中に給湯せんを開けると自動給湯温度の湯が出ます(自動給湯優先)。またその時の湯量は少なくなります。

- シャワーをご使用のときは、いきなり体や頭にはかけずに、手で湯温を確認してからお使いください。

(シャワー使用直後の再使用や、湯量を急に絞ったときには一瞬熱い湯が出ることがあります。)

### ■ 消火

#### ③ 給湯せんを閉めます。

- メインバーナーが消火し、給湯燃焼ランプが消灯します。



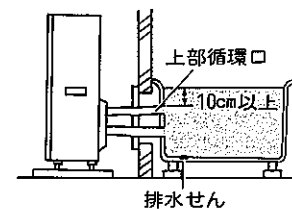
- ワンストップ混合せんやサーモキシング混合せんタイプのものはストップせんを閉めると消火します。

## 自動沸き上げ操作のしかた

浴そうに水(または湯)があるときの沸き上げに使用します。

### ① 浴そうに水(または湯)を入れます。

- 排水せんがきちんと入っていることを確かめ、水(または湯)を入れます。

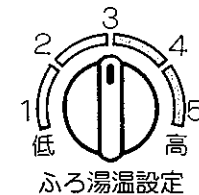


- 給水量はできるだけ、いつも同じ量にしてください。

### ■ 点火

#### ② ふろ湯温の設定をします。

ふろコントローラーのカバーを開け、ふろ湯温設定つまみを適切な位置に合わせてください。沸き上げてかきまぜた後の平均湯温で約35~50℃の範囲で調節できます。

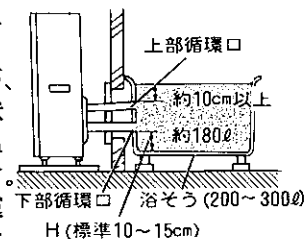


- ふろ湯温設定つまみの位置の目安(約42℃に沸き上げるための目安)

| H寸法(cm)  | 位置の目安 |
|----------|-------|
| 5~10     | 「2」前後 |
| 標準 10~15 | 「3」前後 |
| 15~20    | 「4」前後 |

- ふろ湯温設定は「3」でかきまぜた後適温に沸き上がるように調整してありますが、水温・水量・施工状態により沸き上り温度は多少変化します。
- 上表の数値で一度運転し、熱いときは「低」へぬるいときは「高」へ少しつまみをずらし、翌日再度試してください。

(一般的な設置例)



H(標準10~15cm)

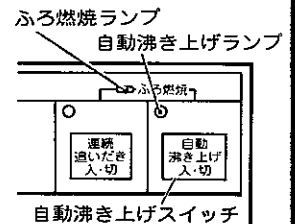
- 季節により多少湯温が変わりますので必要に応じてふろ湯温設定つまみで調節してください。

### ③ 浴そうのフタをします。

### ④ 自動沸き上げスイッチを「入」にします。

メインバーナーに点火し、沸き上げをはじめます。

(自動沸き上げランプ(緑)とふろ燃焼ランプ(赤)が点灯します。)



- 沸き上げが終了すると、自動的に燃焼が止まり、ふろ燃焼ランプが消灯し、約3分後にブザーが鳴ります(約8秒)。同時に自動沸き上げランプ(緑)が点滅をはじめます。

## (注)

- 入浴されるときには自動沸き上げスイッチを「切」にし、必ず浴そうの湯をかきまぜ、湯温を確かめてください。

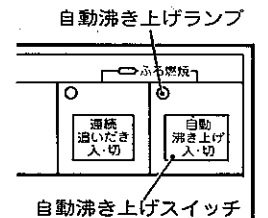
- 浴そう内の水温が高い場合は、自動沸き上げスイッチを「入」にしたとき、ふろ燃焼ランプが点灯と消灯を繰り返して沸き上がるまでに時間がかかることがあります。(沸き上げ途中でのふろ燃焼ランプが消灯しているときは、湯温検出中で異常ではありません)このような場合は、連続追っだしスイッチを「入」にするか、ふろ湯温設定つまみを「高」へ少しまわして沸き上げてください。

- 途中で消火したいときは、自動沸き上げスイッチを「切」にしてください。

## 使用後は

### ⑤ 自動沸き上げスイッチを「切」にしてください。

自動沸き上げランプ(緑)の点滅が消灯します。



# 器具の使用法

## 連続追いだき操作のしかた

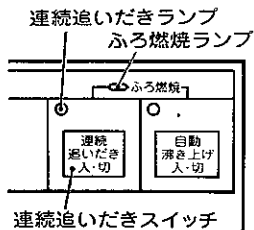
入浴時など湯がぬるくなったときの追いだきに使用します。

### ■ 点火

#### ① 連続追いだきスイッチを「入」にします

メインバーナーに点火し追いだきをはじめます。

(連続追いだきランプ(緑)とふろ燃焼ランプ(赤)が点灯します。)



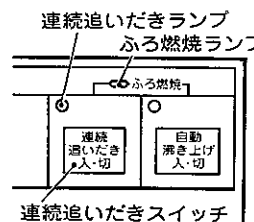
(注)

- 浴そうの上部循環口より10cm以上水(または湯)が入っていることを確認してから操作してください。
- 入浴時は必ず浴そうの湯をかきませ湯温を確かめてください。

### ■ 消火

#### ② 連続追いだきスイッチを「切」にします

メインバーナーが消火し、ふろ燃焼ランプ、連続追いだきランプが消灯します。



(注)

- 連続追いだきの場合は、沸き上げ検知しませんので湯温を適時確認して連続追いだきスイッチを「切」にしてください。

## テレコントロールでの自動給湯のしかた (GU-16R1Dのみ)

松下通信工業(株)のVJ500・VJ800が必要です。

- ガス元せん、給水元せんを開け、運転スイッチを「入」にしてください。
- テレコントロールにより器具をつける制御をすると、「わかりました」「しばらくお待ちください」「給湯器ついています」「機器番号をどうぞ」というようにメッセージされますが実際の給湯器着火・燃焼までに少し時間がかかるため、確実に着火燃焼したことを確認するためには30秒以上経過後再度確認番号を送信してください。
- このとき、ガス元せん・給水せんの開け忘れや、器具の不具合により着火しなかった場合のメッセージは「給湯器消えています」となります。また器具左側の運転スイッチを入れ忘れていた場合のメッセージは「給湯制御できません」となります。
- 操作方法や詳しいことはテレコントロールシステム取扱説明書をごらんください。

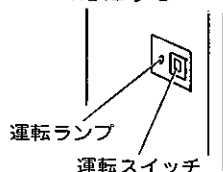
## 長時間使用しない場合

器具の左側の運転スイッチを「切」にし、ガス元せんを閉めてください。

(運転ランプが消えます)

(コントローラーのスイッチを切っただけでは、約16ワットの電力を消費しております。)

1. 運転スイッチを「切」にする



器具の左側

2. ガス元せんを閉める



器具の左側

(注)

- 自動給湯スイッチ、自動沸き上げスイッチ、連続追いだきスイッチを「入」にした後や、給湯せんを開けた後、約7秒たっても燃焼ランプ(赤)が点灯しない場合(燃焼ランプが点滅してブザーが鳴る)は、各々操作したスイッチを一度「切」にし(給湯せんは閉)、再操作をしてください。
- 「自動給湯」使用中は「自動沸き上げ」、「連続追いだき」の操作をされてもスイッチが入らないようになっています。
- 給湯せんでお湯を使っているときの「自動沸き上げ」、「連続追いだき」の使用はできません。

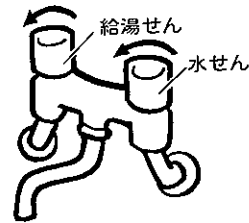
## ■ 運転モニターの表示と処置方法

| 運転モニター  |        | 表示内容と処置方法   |
|---|--------|---|
| ランプの表示  | ブザー音   |   |
| 自動給湯ランプ(緑)点滅<br>(GU-16R1Dのみ)  | 8秒間鳴る  | 自動給湯完了です。   |
| 自動沸き上げランプ(緑)点滅  | 8秒間鳴る  | 自動沸き上げ完了です。   |
| ふろ燃焼ランプ(赤)と<br>自動沸き上げランプ(緑)点滅<br>または<br>ふろ燃焼ランプ(赤)と<br>連続追いだきランプ(緑)点滅 | 8秒間鳴る  | ふろの空だきまたは沸かし過ぎです。<br>(浴そうの水がなくなったか、沸かし過ぎて高温になっています。器具が高温になっていますので、注意して、水を入れてください。)  |
| 給湯燃焼ランプ(赤)点滅<br>または<br>ふろ燃焼ランプ(赤)点滅                                   | 連続的に鳴る | ガス元せんが十分開いてないか、ガスがなくなったときに表示します。ガス元せんを十分開き2~3回点火操作を繰り返してください。<br>それでも正常にもどらない場合は器具が故障していますので、器具左側の運転スイッチを「切」にし、ガス元せん、給水せんを閉め、お求めの販売店に連絡し指示に従ってください。                         |
| (1)自動給湯ランプ(緑)点灯継続<br>(GU-16R1Dのみ)                                     | 連続的に鳴る | 器具が故障しています。<br>器具左側の運転スイッチを「切」にし、ガス元せん・給水せんを閉めてください。<br>そして、お求めの販売店に連絡し、指示に従ってください。<br><br>(ただし、浴そうに水がない状態で点火して空だきをしたときも(5)の運転モニターを表示します。このときは器具が高温になっていますので注意して水を入れてください。) |
| (2)給湯ランプ(赤)と<br>自動沸き上げランプ(緑)点滅  |        |   |
| (3)ふろ燃焼ランプ(赤)と<br>自動沸き上げランプ(緑)点滅                                      |        |   |
| (4)ふろ燃焼ランプ(赤)と<br>連続追いだきランプ(緑)点滅                                      |        |   |
| (5)全ランプ(赤・緑)点滅  |        |   |

# 器具の使用方式

## パナソーラと接続している(GU-16R2D)場合

- 夏期には入水温度が50℃を超えることがあります。50℃以下のお湯を使用されるとき(シャワー・台所・洗面・洗濯など)は本体側面の運転スイッチを「切」にして混合せんで湯温を調節してお使いください。
- 入水温度が60℃を超えますと、沸騰防止装置(入水温ハイカット)が働き自動的に燃焼をストップします。この安全装置は自動的に復帰します。



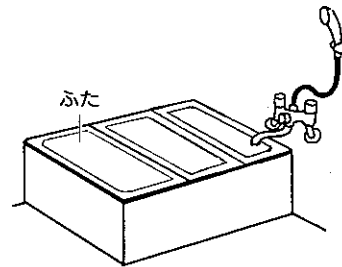
## ■停電後の使用方式

- 停電時は給湯せんを閉めてください。
- 再通電したときは、4～7ページの「■点火」に従って操作してください。

# 器具の上手な使い方

## ■風呂への給湯・沸き上げは……

- 自動給湯で湯を入れられる場合は、浴そうに排水せんとふたをきちんとして、放熱口を防いでください。
- ご家族全員が続けて入れる頃に浴そうに給湯もしくは沸き上がるようにしましょう。



## 冬期の凍結による破損防止について (暖かい地域でご使用のお客様も必ずお読みください。)



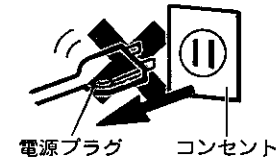
- 凍結の危険性は地域により異なりますので、経験により適時凍結防止の処置を行なってください。
- 凍結すると器具や給湯配管が破損して、水漏れをおこしたり、器具が異常をおこす危険性があります。
- 凍結による修理は有料です。

# 冬期の凍結による破損防止について

## ①凍結予防ヒーターによる方式

- この器具には、外気温が0℃近くなるとサーモスタットの働きで自動的に器具内を保温する凍結予防ヒーターを組み込んでいます。

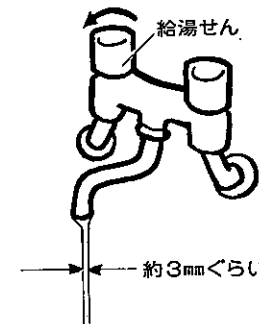
- 凍結予防ヒーターは電源プラグがはずれていると作動しません。絶対に電源プラグは抜かないでください。



- 凍結予防ヒーターは、運転スイッチの「入・切」に関係なく作動します。  
(注)外気温が極端に低く(無風時で-15℃以下)になりますと、この凍結予防ヒーターだけでは効果ありません。このような場合は、②または③の方法を行なってください。

## ②給湯せんから水を流す方式

- ガス元せんを閉め、運転スイッチを「切」にして、お風呂場の給湯せんを開け、1分間に約200cc以上(牛乳びん1本ぐらい)の水を浴そうに流し込んでください。



- 流量が不安定なことがありますので、念のため約30分後にもう一度流量をご確認ください。
- 電源プラグは抜かないでください。

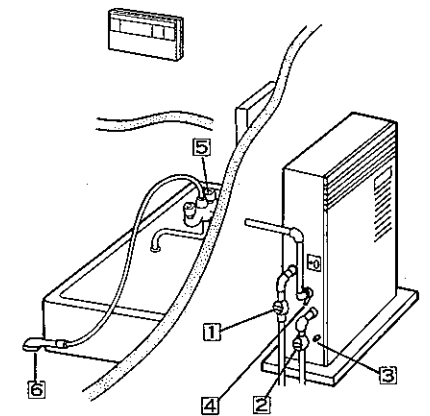
## ③水抜きによる方式

次の順序で行なってください。

- (1)器具左側の運転スイッチを「切」にし、ガス元せん①を閉める。
- (2)給水元せん②をしっかり閉める。
- (3)水抜きせん③・④を開ける。
- (4)給湯せん⑤またはシャワーせん(シャワーを取り付けている場合)を全部開ける。
- (5)シャワーヘッド⑥を床面まで下げる。

- 給湯せん⑤およびシャワーヘッド⑥と、水抜きせん③・④から水が抜けるのを確認してください。

- 次にお使いになるまで、このままにしておいてください。



## 〈水抜き後の使用方式〉

- (1)水抜きせん③・④を元通りしっかり閉める。
- (2)ガス元せんを止めた状態および器具左側の運転スイッチを「切」にした状態で給水元せん②を開け、給湯せん⑤およびシャワーヘッド⑥から水が出ることを確かめたのち、給湯せん⑤を閉めてからお使いください。
- (3)4ページの「器具の使用方式」に従ってお使いください。

# 冬期の凍結による破損防止について

## ■ご注意

- もし凍結して水が出ないときは、使用をひかえ（器具左側の運転スイッチを「切」にした状態で）、給湯せん回を開け、水が出るまで待ってからお使いください。
- ①および②の方法では、給水・給湯配管や、バルブ類の凍結防止はできません。凍結防止のため配管には、必ず保温材を巻いてください。
- 冷え込みの厳しい地域では、「水道凍結防止器」を配管およびバルブ類に巻いて、十分な保温を行なってください。

## ■凍結したとき

- 凍結した場合、ガス元せん・給水元せんを閉めてください。凍結したまま使われますと器具に異常が生じる場合があります。
- 凍結がとけたあと、水漏れがないことを確認のうえご使用ください。
- 器具や配管が破損しますと、高額な修理費用がかかる場合があります。（有料）

# 日常の点検・手入れ

点検・手入れの前には、必ず給水元せんとガス元せんを閉め、電源プラグを抜いて、器具が冷えてから行ってください。

## ■点検

- 器具および配管より水漏れ・ガス漏れはありませんか。（ガス漏れは、配管接続部に石けん水などをつけて調べてください）
- 運転中に、器具から異常音が聞こえませんか。
- 器具の外観に異常は見られませんか。
- 器具のまわりに燃えやすいものはありませんか。

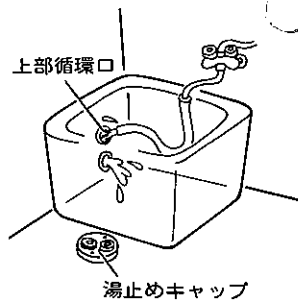
## ■お手入れ

- 器具の表面が汚れたときは、布またはスポンジに台所用洗剤（中性洗剤）をつけてふき取ってください。シンナー・ベンジンなどではふかないでください。



## ●ふろ用熱交換器のお手入れ

上部循環口の湯止めキャップをはずし、水道のホースの先を上下交互に入れ、水を勢いよく出して、熱交換器内を洗ってください。



（熱交換器内には使用中の湯あかが付着します。半年に1回程度お手入れを行なってください。）

## ■定期点検のおすすめ

ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、定期点検を年に1～2回、お求めの販売店にご相談ください。

# 故障・異常の見分け方と処置方法

ご使用中に、ふだんと違った状態になったときや不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、直ちにご使用を中止し、十分な点検をしてください。

## ■故障・異常の見分け方と処置方法について（○=主原因、△=原因）

| 現象                             | 運転ランプが点灯しない | 給湯燃焼ランプが点灯しない | 給湯せんを開けても湯が出ない | 使用中に水になる | 高温の湯が出ない | 低温の湯がとれない | 使用中に湯温が極端に変動する | お湯を止めても燃焼ランプが消えない | ふろ燃焼ランプが点灯しない | ふろが沸かない、または沸きがおそい | 処置方法   | 参照ページ | お客さま | 販売店・ガス会社 |
|--------------------------------|-------------|---------------|----------------|----------|----------|-----------|----------------|-------------------|---------------|-------------------|--|-------|------|----------|
| 原因                             |             |               |                |          |          |           |                |                   |               |                   |  |       |      |          |
| 電源プラグがはずれている（運転スイッチが「切」になっている） | ○           | ○             | ○              |          |          |           |                |                   | ○             |                   | プラグをコンセントに差し込む（運転スイッチを「入」にする）                | 4     | ○    |          |
| ガス元せんの開き不十分                    |             | △             | △              | △        | ○        |           | △              |                   | △             | △                 | ガス元せんを全開にする                                  | 4     | ○    |          |
| 配管内に空気が残っている                   |             | ○             | △              | △        |          |           |                |                   | ○             |                   | 点火操作を繰り返す                                    | 4～7   | ○    |          |
| ガス圧が適切でない                      |             |               | △              | △        | △        | △         | △              |                   | △             | △                 | 他の器具も同様の場合は点検を依頼する（他に原因がないとき）                | —     |      | *        |
| 給水元せんの開き不十分                    |             |               | ○              | △        |          | △         | △              |                   |               |                   | 給水元せんを全開にする                                  | 4・5   | ○    |          |
| 水温が適切でない                       |             |               | ○              | △        |          | △         | ○              |                   |               |                   | 点検または点検を依頼する（他に原因がないとき）                      | —     |      | *        |
| 水フィルターの詰まり                     |             |               | △              | △        |          | △         | △              |                   |               |                   | 点検を依頼する                                      | —     |      | *        |
| 断水している                         |             |               | ○              |          |          |           |                |                   |               |                   | 給湯使用をいったん中止する                                | —     | ○    |          |
| 凍結している                         |             | ○             | ○              |          |          |           |                |                   |               |                   | 解凍するまで使用を中止する                                | 9～11  | ○    |          |
|                                |             |               |                |          |          |           |                |                   |               |                   | 電源プラグがはずれている場合はコンセントに差し込む                    | 9～11  | ○    |          |
| バーナー炎口の詰まり<br>空気吸込口の詰まり        |             | △             | △              | △        | △        |           |                |                   | △             | △                 | 点検を依頼する                                      | —     |      | *        |
| 熱交換器の目詰まり                      |             |               |                |          | △        |           |                |                   |               | △                 | 点検を依頼する                                      | —     |      | *        |
| 給湯せんの調節が切でない                   |             |               |                |          | ○        | ○         | ○              |                   |               |                   | 「器具の使用法」の給湯操作のし方を参照する                        | 5     | ○    |          |
| 給湯せんの開き不足                      |             |               | △              | △        |          |           | △              |                   |               |                   | 給湯せんを全開にする                                   | 5     | ○    |          |
| ノズル詰まり                         |             |               | △              | △        |          |           |                |                   |               | △                 | 点検を依頼するとき（他に原因がないとき）                         | —     |      | *        |
| 安全装置が作動                        |             | ○             | ○              | ○        |          |           |                |                   | ○             |                   | 点検を依頼する（度々作動する場合）                            | 13    |      | *        |
| 流量センサーの故障                      |             |               | △              | △        | △        |           | △              | ○                 |               |                   | 点検・修理・部品交換を依頼する（他に原因がないとき）                   | —     |      | *        |
| 電気部品の故障                        | ○           |               | ○              |          | △        |           |                | ○                 | ○             | ○                 | 点検を依頼する                                      | —     |      | *        |
| 停電                             | ○           |               |                | ○        |          |           |                |                   | ○             | ○                 | 再通電するまで待つ                                    | 9     | ○    |          |
| 浴そう内の湯温が高い                     |             |               |                |          |          |           |                |                   | ○             |                   | ふろ運転を「連続追いつき」にする。「器具の使用法」の「連続追いつき操作のし方」を参照する | 7     | ○    |          |
| 漏電安全装置の故障                      | ○           | ○             | ○              |          |          |           |                |                   | ○             |                   | 点検を依頼する                                      | 14    |      | *        |

# 故障・異常の見分け方と処置方法

## ■安全装置の働き

### ●バーナー安全装置

メインバーナーの炎が消えたときは、安全装置が働いて自動的にガスが止まります。

### ●電流ヒューズ

過電流が流れますと、自動的に運転を停止します。

### ●空だき安全装置(ふろ)

排水せんなどからの水漏れによりふろがまを空だきしたときは、熱交換器の温度上昇を感知して、ふろがまへのガスを自動的に停止します。

この安全装置は自動的に復帰します。

### ●空だき安全装置(給湯)

万一、メインバーナーの火が消えずに、湯温が異常温度上昇したときは、ガスを自動的に停止します。

この安全装置は自動的に復帰します。

### ●過圧逃し弁

器具内の水圧が異常に上昇したときに作動し、器具内の圧力を下げて、器具の損傷を防止します。

### ●過熱防止装置

万一、器具が異常温度上昇したときは、ガスを自動的に停止します。

### ●漏電安全装置

器具内の電気回路に異常がおこり、漏電などの危険が生じますと、電気を自動的に停止します。この安全装置は自動復帰しません。電源プラグを持って、コンセントから抜き、再度コンセントに差し込んでも異常が直らないときは、電源プラグを抜き、お求めの販売店にご連絡ください。

### ●沸とう防止装置(GU-16R2D)

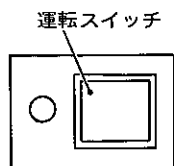
入水温度が60℃を超えますと、自動的に燃焼を停止します。この安全装置は自動的に復帰します。

## ■安全装置が作動したときの処理方法

●点火しなかったり、ご使用中にメインバーナーが消火したときは、下記の方法および12ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」に従ってください。

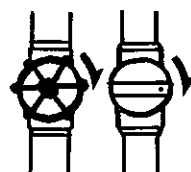
また上記の安全装置が働いた場合には、運転スイッチを「切」にし、ガス元せん・給水元せんを閉めてからお求めの販売店に連絡してください。

1. 運転スイッチを「切」にする。



器具の左側

2. 給水元せん・ガス元せんを閉める。



器具の左側

3. お求めの販売店へ...



連絡

# 仕様

| 品名     |  | ガス給湯ふろユニット   |  |   |
|--------|--|--|--|---|
| 品番     |  | GU-16RD  | GU-16R2D   | GU-16R1D  |
| 種類     | 給湯方式   | 先止め式   |  |   |
|        | 給排気方式  | 屋外用  |  |   |
| 点火方式   |  | 連続放電式(自動点火)  |  |   |
| 水圧     | 使用水圧   | 0.7kg/cm以上   | 0.5kg/cm以上   | 0.7kg/cm以上  |
|        | 作動水圧   | 0.2kg/cm   |  |   |
| 外形寸法   | 本体   | 高さ700mm×幅480mm×奥行200mm   | 高さ700mm×幅480mm×奥行200mm   | 高さ850mm×幅480mm×奥行200mm  |
|        | ふろコントローラー  | 高さ 94mm × 幅 193mm × 奥行 28mm  |  |   |
| 重量     | 本体   | 26kg   | 26kg   | 28kg  |
|        | ふろコントローラー  | 0.5kg  |  |   |
| 接続     | ガス   | LPガス用 15A(PT 1/2)・都市ガス用 20A(PT 3/4)  |  |   |
|        | 給水   | 15A(PT 1/2)  |  |   |
|        | 給湯   | 15A(PT 1/2)  |  |   |
| 電気関係   | 電源   | AC100V 50Hz/60Hz   |  |   |
|        | 消費電力   | 50Hz248W(最大燃焼時79W<br>+凍結予防ヒーター169W)<br>60Hz264W(最大燃焼時95W<br>+凍結予防ヒーター169W) | 50Hz248W(最大燃焼時79W<br>+凍結予防ヒーター169W)<br>60Hz264W(最大燃焼時95W<br>+凍結予防ヒーター169W) | 50Hz263W(最大燃焼時83W<br>+凍結予防ヒーター180W)<br>60Hz280W(最大燃焼時100W<br>+凍結予防ヒーター180W) |
|        |  | (コントローラーのスイッチ「切」のとき; 約16W)   |  |   |
|        | 電源コードの長さ   | 2.0m   |  |   |
| 湯温制御方式 | 電子式ガス比例制御方式  |  |  |   |
| 基準浴槽   | 容量: 200ℓ~300ℓ(1人~2人用)  |  |  |   |
| 安全装置   | バーナー安全装置・空だき安全装置(ふろ)・空だき安全装置(給湯)・過熱防止装置・過圧逃し弁誘導雷保護装置・凍結予防ヒーター・沸騰防止装置(GU-16R2D) |  |  |   |
| 付属品    | ふろコントローラー(一式)・接続ゴム(2コ)<br>接続バンド(4本)・固定金具(一式)・アース棒                              |  |  |   |
| 別販品    | 排気カバー・配線ケーブル(GU-16R1Dのみ)・オプションコントローラー(GU-16R1Dのみ)                              |  |  |   |

| 使用ガス<br>使用ガスグループ | 型式名                       | 1時間当たりのガス消費量 |              |              |              | 出湯能力(ℓ/分)(水圧:1kg/cm) |              |
|------------------|---------------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|----------------------|--------------|
|                  |                           | ふろがま         | 給湯能力         |              | 同時使用         | 能力大                  |              |
|                  |                           |              | 大            | 小(参考値)       |              | 水温+25℃<br>上昇         | 水温+40℃<br>上昇 |
| 都市ガス用            | 4 A                       | 9,400kcal/h  | 26,000kcal/h | 10,800kcal/h | 33,000kcal/h | (13.8)               | 8.6          |
|                  | 4 B                       | 9,500kcal/h  | 27,000kcal/h | 10,900kcal/h | 33,400kcal/h | (14.0)               | 8.7          |
|                  | 4 C                       | 10,000kcal/h | 30,100kcal/h | 11,400kcal/h | 35,000kcal/h | (14.7)               | 9.2          |
|                  | 5 A                       | 10,000kcal/h | 30,100kcal/h | 9,900kcal/h  | 38,000kcal/h | (15.3)               | 9.6          |
|                  | 5 A N                     | 10,000kcal/h | 30,100kcal/h | 9,900kcal/h  | 38,000kcal/h | (15.3)               | 9.6          |
|                  | 5 B                       | 10,000kcal/h | 30,100kcal/h | 9,900kcal/h  | 38,000kcal/h | (15.3)               | 9.6          |
|                  | 5 C                       | 10,000kcal/h | 30,100kcal/h | 9,900kcal/h  | 38,000kcal/h | (15.3)               | 9.6          |
|                  | 6 A                       | 10,000kcal/h | 30,100kcal/h | 8,000kcal/h  | 39,500kcal/h | (16.1)               | 10.1         |
|                  | 6 B                       | 10,000kcal/h | 30,100kcal/h | 9,600kcal/h  | 39,500kcal/h | (15.8)               | 9.9          |
|                  | 6 C                       | 10,000kcal/h | 30,100kcal/h | 9,200kcal/h  | 39,500kcal/h | (15.3)               | 9.8          |
|                  | 7 C                       | 10,000kcal/h | 30,100kcal/h | 9,900kcal/h  | 38,000kcal/h | (15.8)               | 9.9          |
|                  | 1 1 A                     | 10,000kcal/h | 31,000kcal/h | 9,900kcal/h  | 39,000kcal/h | (16.5)               | 10.3         |
|                  | 1 2 A                     | 9,700kcal/h  | 30,100kcal/h | 6,700kcal/h  | 38,200kcal/h | (16.1)               | 10.1         |
| 1 3 A            | 10,200kcal/h              | 32,000kcal/h | 7,200kcal/h  | 41,000kcal/h | (16.9)       | 10.6                 |              |
| LPガス用            | GF-GU-16RD<br>GF-GU-16R1D | 0.83kg/h     | 2.51kg/h     | 0.61kg/h     | 3.33kg/h     | (16.5)               | 10.3         |

●出湯能力の( )内は、水温+25℃上昇に換算した号数です。